

5月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		10,728	100	9,718	97	77	85	-	0.0	千葉産が全体の8割を占め、主力となる。3月以降の気温の上昇により生育は回復してきており、入荷量は前年並みとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。
にんじん		8,894	100	8,413	127	102	149	-	0.0	徳島産が全体の7割を占める。今年は生育順調で、根部の肥大状況も良好に推移している。4月中はMサイズ中心の出荷であったが、5月にはMサイズ以上の割合が多くなっていく。全体の入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。
はくさい		6,955	100	6,203	59	93	56	-	0.0	茨城中心の入荷で全体の9割を占める。生育、肥大ともに概ね順調に推移しており、入荷量は前年並みとなる。出荷のピークは5月中旬頃で、6月に入ると減少する。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
キャベツ類		20,493	98	18,139	94	85	84	-	0.0	神奈川、千葉、愛知産中心の入荷で全体の約9割を占める。神奈川は4月に入り乾燥状態が続き、生育、結球とも停滞気味で、入荷量は前年を下回る。千葉は気温の上昇とともに生育は回復してきている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
ほうれんそう		1,338	102	1,530	472	91	415	-	0.0	群馬、埼玉、茨城、岩手産が中心となる。関東産は概ね生育順調で、前年をやや上回る入荷となる。群馬は5月中旬から出荷量もまとまり、下旬にピークとなる。後続の岩手も生育は概ね順調である。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回るものの、平年より高くなる見込み。
ねぎ		3,972	102	3,961	331	91	346	-	0.0	千葉、茨城、埼玉産中心の入荷で全体の8割を占める。各産地とも3月以降の気温の上昇と適度な降雨があり、生育、肥大とも順調に推移している。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
きゅうり		8,816	95	8,397	225	98	206	22	0.3	埼玉、群馬、茨城を中心とする関東産が主力となる。山形産も徐々に入荷が増えていく。関東産地は3月以降の気温の上昇により着果、肥大とも良好に推移している。全体の入荷量は前年をやや下回るものの平年並みで、価格は前年並みの見込み。
トマト		9,331	103	9,219	363	77	299	-	0.0	熊本、栃木、愛知産が主力となる。今年は、西南暖地、関東産とも着果状況、果実肥大は良好に推移している。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。